



## 任意のローカルおよびリモート記述子

メディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) 経由で送信される単一の **add** コマンドで、ローカルとリモートの両方のアドレスまたはポート記述子が指定されているとは限らないため、これを補完するために、その後の **modify** コマンドで 1 つまたは複数の記述子を指定できるようになりました。このようにした場合は、メディア ゲートウェイ (MG) は MGC から受信した情報を記録し、十分な情報がそろってから MPF (Media Packet Forwarder) ピンホールをプログラミングします。

記述子は次のいずれかです。

- アドレス
- ポート割り当て
- 帯域予約

### 任意のローカルおよびリモート記述子のサポートの履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「任意のローカルおよびリモート記述子の前提条件」 (P.SBC-449)
- 「任意のローカルおよびリモート記述子に関する制約事項」 (P.SBC-450)
- 「任意のローカルおよびリモート記述子に関する情報」 (P.SBC-450)
- 「任意のローカルおよびリモート記述子に関する統計情報の表示」 (P.SBC-451)
- 「[dbe signaling-flow-stats](#) に対応する **show** コマンドの例」 (P.SBC-451)

## 任意のローカルおよびリモート記述子の前提条件

DBE は、終端に対する **add** または **modify** コマンドに、次のどの値が指定されていても受け付けることができます。

- 各ストリームに 0 個または 1 個のローカル記述子
- 各ストリームに 0 個または 1 個のリモート記述子

## 任意のローカルおよびリモート記述子に関する制約事項

- ローカル記述子を使用して選択されたアドレスおよびポートを後で変更しようとしても、DBE によって拒否されます。
- ローカル記述子とリモート記述子の両方が指定されていない終端は、終端状態が `OutOfService` であることが必要です。部分的に指定された終端をインサービスにしようとするとき、要求が拒否されて次の応答が返されます。

**エラー メッセージ** ER=441 Missing Remote or Local Descriptor

- ワイルドカード要求を使用して終端のサービス状態を変更してインサービスに設定するとき、この要求に入れることができるコマンドは 1 つだけになりました。つまり、次に示す形式のトランザクションは DBE によって拒否され、前述の `error 421` が返されます。

```
C={W-MF=ip/1/*{M{TS{SI=IV}}}, W-MF=ip/2/*{M{TS{SI=IV}}}}
```

## 任意のローカルおよびリモート記述子に関する情報

受信した **add** または **modify** コマンドで、ローカルとリモートのアドレスまたはポート記述子のすべてが指定されている場合は、[任意のローカルおよびリモート記述子の前提条件](#)で説明したように、DBE によってデータストリームの MPF ピンホールがプログラミングされます。それよりも前は、DBE によってストリーム情報がローカルで保管されますが、このデータは MPF に渡されません。

DBE は、ピンホールのいずれかの側の最初のローカル記述子が指定された時点で、次のようなピンホール用のリソースを予約します。

- アドレスおよびポート割り当て
- 帯域予約

この予約に失敗した場合は、次のいずれかが発生する可能性があります。

- `ginfo package` が使用中であり、`ginfo/gate_state` が `provisional` である場合は、MGC によってゲートが削除され、**add** または **modify** 要求に対しては `510 - insufficient resources failure response` が返されます。
- ゲートが以前の状態に戻され、**add** または **modify** 要求に対しては `510 - insufficient resources failure response` というメッセージが返されます。

## 任意のローカルおよびリモート記述子に関する統計情報の表示

次の show コマンドを使用すると、任意のローカルおよびリモート記述子に関する統計情報が表示されます。このコマンドのパラメータは次のとおりです。

```
show services sbc service-name dbc [media-flow-stats | signaling-flow-stats]
```

表 17

パラメータ	デフォルト値	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>シグナリング ピンホール : <i>StateofSignalingFlow</i></li> <li>メディア ピンホール : <i>StateofMediaFlow</i></li> </ul>	Partial または Allocated	デフォルト値となるのは、ローカルとリモートのどちらの記述子も指定されていない場合です。
<i>LocalAddress</i>	0.0.0.0。	デフォルト値となるのは、ローカル記述子が指定されていない場合です。
<i>LocalPort</i>	0	デフォルト値となるのは、ローカル記述子が指定されていない場合です。
<i>VRF Name</i>	-	なし
<i>RemoteAddress</i>	0.0.0.0	この値に設定されるのは、リモート記述子が指定されていない場合です。
<i>RemotePort</i>	0	この値に設定されるのは、リモート記述子が指定されていない場合です。

## dbc signaling-flow-stats に対応する show コマンドの例

```
show service sbc mysbc dbc signaling-flow-stats
```

```
Signaling Flow:
  State of Signalling Flow: Partial
  Call Age:                10224 ms
  Call Priority:           Routine
  ContextID 2
  StreamID 1
  Side A:
    Name cisco/sip/gn/0/1/0/1/ac/1
    Reserved Bandwidth:    45000 (bytes/second)
    Status:                Out of Service
    VRF Name:
    Local Address:        86.86.17.10
    Local Port:           20000
  Remote Address:        0.0.0.0
  Remote Port:           0
  Packets Received:      0
  Packets Sent:          0
  Packets Discarded:     0
  Data Received:         0 (bytes)
```

```

Data Sent:                0 (bytes)
Data Discarded:          0 (bytes)
Gm Discarded Packets:    0
Media Flowing:           No
Affected by Routing Error: No
Side B:
Name cisco/sip/gn/0/1/0/1/bb/2
Reserved Bandwidth:      Unlimited
Status:                  In Service
VRF Name:
Local Address:           86.86.17.10
Local Port:              20001
Remote Address:          200.200.200.136
Remote Port:             16000
Packets Received:        0
Packets Sent:            0
Packets Discarded:       0
Data Received:           0 (bytes)
Data Sent:               0 (bytes)
Data Discarded:          0 (bytes)
Gm Discarded Packets:    0
Media Flowing:           No
Affected by Routing Error: No

```

## その他の関連資料

次の項では、この機能に関連する参照資料を提供します。

## 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	-

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p><a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a></p>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a></p>

